

英語 3 : 303-3-DP1・DP2・DP3・DP4・DP6

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	3年次クラス担任主任

学修目標 (G I O) と単位数	<ul style="list-style-type: none"> ・単位数：1 ・学修目標 (G I O)：国内外の歯科医療の現状を理解するために、歯科医学に関わる英語を習得する。
担当教員	三枝 禎、谷本 安浩、*有川 量崇、*久山 佳代、*中山 洋平、*小出 恭代、*鈴木 亜沙子、*平山 聡司、*金田 隆、*岡部 達、*飯田 崇、*小見山 道、*小峯 千明、田口 千恵子
教科書	各科目の教科書、配布プリントを使用する。各科目の指定教科書については講義担当者に確認すること。
評価方法 (E V)	講義点：2回行う平常試験 (50%×2回=100%) を講義点とする。 最終評価は、講義点の成績により決定する。 平常試験に対する再試験は行わないが、最終評価が合格点 (60点) に達しない場合、全範囲についての再試験を実施することがある。 ただし、講義を1/5以上欠席した場合、最終評価点は0-60点とし、再試験の受験資格を与えない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	国内外の歯科医療の現状を理解し、国際社会で活躍できる基本的能力を身につけることは重要です。また近年の歯科医師国家試験において、歯科医学に関連した英語が出題されています。これらを意識しながら、歯科医学英語について理解できるように学修に取り組んでください。授業には辞書 (電子辞書も可) を持参してください。歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学英語および世界の歯科医療の現状について説明します。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/09/11 (水) 2時限 10:40~12:10	薬理学2の英語	<p>【授業の一般目標】 薬理学と薬物治療に関わる英語を知り、基礎医学への理解を一層深める。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 薬理学と薬物治療に関わる英語を知る。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目： ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目： ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 201教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-7 社会における医療の実践 A-7-2) 国際医療への貢献 ①患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとし異なる言語に対応することができる。 C 生命科学 C-6 生体と薬物 C-6-2) 薬理作用 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用 ①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。</p>	三枝 禎
2024/09/18 (水) 2時限 10:40~12:10	歯科材料学2の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯科材料学2に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 歯科材料学2に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 歯科材料学2に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科材料学2で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p>	谷本 安浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/09/18 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科材料学2の英語	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 201教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ① 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ② 歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ④ 歯科矯正用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ⑤ 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	谷本 安浩
2024/09/25 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔衛生学の英語 ①	<p>【授業の一般目標】 口腔衛生学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. WHOの健康の定義を英語で説明できる。 2. ヘルスプロモーションを英語で説明できる。 3. プライマリーヘルスケアを英語で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：衛生学で学んだ英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 201教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ① 健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ② 口腔と全身の健康との関連を説明できる。 ③ 栄養と食育を説明できる。</p>	田口 千恵子
2024/10/02 (水) 2時限 10:40～12:10	病理学の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、病理学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 病理学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 病理学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. 6大病変を英語で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：病理学で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 201教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2-2) 学修の在り方 ① 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題</p>	*久山 佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/10/02 (水) 2時限 10:40～12:10	病理学の英語	<p>点を抽出できる。 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-1) 病因論と先天異常 ②環境と疾患の関係を説明できる。 C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮 ③疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。 C-5-4) 循環障害 ①虚血、充血及びびうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。 C-5-5) 炎症 ①炎症の定義と機序を説明できる。 C-5-6) 腫瘍 ①腫瘍の定義を説明できる。</p>	*久山 佳代
2024/10/09 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科補綴学1 (有床義歯補綴学) の英語①	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯科補綴学1 (有床義歯補綴学) に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯に関する専門用語について列挙し、説明できる。 2. 局部床義歯に関する英語論文または解説文を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科補綴学1 (有床義歯補綴学) で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有：Google formを使った演習 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 201教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素 a 前処置 b 印象採得 c 顎間関係の記録 d 試適 (ろう義歯、フレームワーク) e 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p>	*小出 恭代 *鈴木 亜沙子
2024/10/23 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科保存学1 (歯周治療学) の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯科保存学1 (歯周治療学) に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科保存学1 (歯周治療学) に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 歯科保存学1 (歯周治療学) に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科保存学1 (歯周治療学) で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/10/23 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科保存学1 (歯周治療学) の英語	201教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 b 歯周炎とそのリスクファクター 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 b 歯周炎の予防・管理 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる (疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む)。 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メンテナンス法を含む) を説明できる。 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。	*中山 洋平
2024/10/30 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科保存学1 (保存修復学) の英語 ①	【授業の一般目標】 歯科医学英語のうち保存修復学総論領域に関する英語表現を理解するために、保存修復学基本英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 1. 保存修復学総論領域の専門用語に関する英単語を説明できる。 2. 保存修復学総論領域に関する英語解説文を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 歯科保存学1 (保存修復学) で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間: 30分 事後学修項目: 授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: マルチメディア、プリント配布 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 201教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 c tooth wear (歯の損耗) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 a 齶蝕の病因 d 象牙質知覚過敏症 e 歯の変色・着色 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。	*小峯 千明 *平山 聡司
2024/11/06 (水) 2時限 10:40～12:10	平常試験①	【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、臨床歯科医学に関連する英語情報に対する読解力を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科材料学2に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 2. 薬理学2に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 3. 口腔衛生学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 4. 病理学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 5. 歯科補綴学1 (有床義歯補綴学) に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 6. 歯科保存学1 (歯周治療学) に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 7. 歯科保存学1 (保存修復学) に関する専門用語についての英単語、解説文を	三枝 禎 谷本 安浩 *有川 量崇 *久山 佳代 *中山 洋平 *小出 恭代 *鈴木 亜沙子 *平山 聡司 *金田 隆 *岡部 達 *飯田 崇 *小見山 道 *小峯 千明 田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/11/06 (水) 2時限 10:40～12:10	平常試験①	<p>説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまで（第1～7回で）学修してきた講義項目について英単語リストおよび英文について復習する。 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験内容を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：試験問題用紙配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 201教室</p>	三枝 禎 谷本 安浩 *有川 量崇 *久山 佳代 *中山 洋平 *小出 恭代 *鈴木 亜沙子 *平山 重聡司 *金田 隆 *岡部 達 *飯田 崇 *小見山 道 *小峯 千明 田口 千恵子
2024/11/13 (水) 2時限 10:40～12:10	放射線の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、放射線学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力も身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 放射線学に関する専門用語の英単語を説明できる。 2. 放射線学に関する専門英語の解説文を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線学の専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 201教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑤ エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥ 口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦ 口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑧ 顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨ 造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*金田 隆
2024/11/20 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔病理学の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、病理学総論に関わる英単語を学修し、総論に関連する口腔病理学の英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 病理学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 6大病変に関する専門用語についての英語の解説文を理解できる。 3. 口腔病理学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 4. 口腔病理学に関する専門用語についての英単語を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：英語3（第1回目）および口腔病理学で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 201教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力</p>	*久山 佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/11/20 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔病理学の英語	A-2-2) 学修の在り方 ①講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-1) 病因論と先天異常 ①染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。 C-5-4) 循環障害 ①虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。 C-5-5) 炎症 ①炎症の定義と機序を説明できる。 C-5-6) 腫瘍 ①腫瘍の定義を説明できる。	*久山 佳代
2024/11/27 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔衛生学の英語 ②	【授業の一般目標】 口腔衛生学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 1. WHOの健康の定義を英語で説明できる。 2. ヘルスプロモーションを英語で説明できる。 3. プライマリーヘルスケアを英語で説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：衛生学で学んだ英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 201教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 ③栄養と食育を説明できる。	田口 千恵子
2024/12/04 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科保存学1 (歯内療法学) の英語	【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯科保存学1 (歯内療法学) に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科保存学1 (歯内療法学) に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 歯科保存学1 (歯内療法学) に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科保存学1 (歯内療法学) で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 201教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/12/11 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科補綴学1 (有床義歯補綴学) の英語②	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯科補綴学1 (有床義歯補綴学) に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯に関する専門用語について列挙し、説明できる。 2. 総義歯に関する専門用語についての英語の論文または解説文を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科補綴学1 (有床義歯補綴学) で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：Google formを使った演習</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 201教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素 a 前処置 b 印象採得 c 顎間関係の記録 d ろう義歯の試適 e 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4 - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。 ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。</p>	*小出 恭代 *鈴木 亜沙子
2024/12/18 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科保存学1 (保存修復学) の英語②	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語のうち保存修復学臨床領域に関する英語表現を理解するために、保存修復学基本英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保存修復学臨床領域の専門用語に関する英単語を説明できる。 2. 保存修復学臨床領域の専門用語に関する英語解説文を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科保存学1 (保存修復学) で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 201教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p>	*小峯 千明 *平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/12/18 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科保存学1 (保存修復学) の英語 ②	e 補修修復 f 歯の漂白 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④窩洞形成の意義と方法を説明できる。	*小峯 千明 *平山 聡司
2024/12/25 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科補綴学1 (クラウンブリッジ補綴学) の英語	【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯科補綴学1 (クラウンブリッジ補綴学) に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科補綴学1 (クラウンブリッジ補綴学) に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 歯科補綴学1 (クラウンブリッジ補綴学) に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科補綴学1 (クラウンブリッジ補綴学) で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 201教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ア 診察 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。	*飯田 崇 *小見山 道
2025/01/15 (水) 2時限 10:40～12:10	平常試験②	【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、臨床歯科医学に関連する英語情報に対する読解力を身につける。 【行動目標 (SBOs)】 1. 放射線学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 2. 口腔病理学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 3. 口腔衛生学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 4. 歯科保存学1 (歯内療法学) に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 5. 歯科補綴学1 (有床義歯補綴学) に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 6. 歯科保存学1 (保存修復学) に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 7. 歯科補綴学1 (クラウンブリッジ) に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまで (第9～15回) 学修してきた講義項目について英単語リストおよび英文について復習する。 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験内容を復習する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：試験問題用紙配布 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 201教室	三枝 禎 谷本 安浩 *有川 量崇 *久山 佳代 *中山 洋平 *小出 恭代 *鈴木 亜沙子 *平山 聡司 *岡部 隆達 *飯田 崇 *小見山 道 *小峯 千明 田口 千恵子